



ゆり組の子どもたちは、明るくて好奇心旺盛、いろいろなことに興味を持ち、何でもやってみようとチャレンジします。鉄棒や縄跳びなど、最初はできなかったことも何度か挑戦してできるようになり、それが自信となって次の意欲とつながっているようでした。友だちが、なかなかできないで困っていると「こうするといいんだよ」と手本を見せて教えてあげたり、「もうちょつとで、できそうだね」と励ましてあげ、できるようになると「〇〇くん、できるようになった〜!」と一緒に喜んであげたりしています。友だち思いで、やさしい気持ちをもっている子どもたちです。

今年度は、縦割りクラスでの生活も2年目。年下の友だちと、様々な行事や活動を一緒に経験していくなかで、気持ちを考えてやさしく言葉をかけたり、遊び方やルールを分かりやすく教えようとする姿があり、子どもたちの成長をうれしく思いました。

製作遊びが大好きで、イメージを広げて素敵な絵を描いたり、アイデアいっぱいいろいろなものを作って遊べる子どもたち。そんな、ゆり組の子どもたちも、もうすぐ卒園です。西部保育園での思い出を胸に、自分に自信をもって羽ばたいてほしいと思います。



# こんにちは

第22号  
2018.3  
興道西部保育園  
米沢市木場町2-9  
TEL 0238-24-8558  
題字 浅間悠貴 (園児)



## 子育てサロンオープン

子育てがはじめてのお母さんから子育て先輩お母さんまで、春はお花見、夏はかき氷、秋は焼きいもを食べながら、子育ての“あんなこと”“こんなこと”をおしゃべりしました。



サロンに参加し、先生方とゆっくり話が出来たり、季節物を一緒に食べることができ、楽しかったです。

すみれ組 遠藤愛姫さん・朱菜さん母



智子園長先生や他の学年の保護者のみなさんとお話できる、よい機会になりました。また参加したいです。

たんぽぽ組 我妻 穂さん母



## 編集後記

今年度は、米沢市幼小連の公開保育がありたくさんの方が保育園にいらっしやいました。また、子育てサロンをオープンし、いろんな人が保育園を訪れました。「こんにちは」と挨拶を交わしたり話しかけたりする子どもたちの姿に、人懐っこさと人が好きなんだなあと感じることの多い一年でした。

「人が好き、人間っていいなあ」  
園長 長井 智子

当園の保育で大切にしていることは、子どもが思い思いに遊ぶことを保障することです。子どもが思い思いに遊ぶことは、自然のなかで思う存分遊び、お腹を空かせて食べる。くたくたになつて眠る生活であると考えます。子どもが思い思いに遊ぶことは、学びの場ですがあります。学びの出発点は興味や関心です。

ここで園生活の当番活動について紹介します。年長児が中心になり年中児と一緒に給食の準備をしていきます。年少児の子どもたちは当番活動に興味をもつて見えています。やりたくて仕方ないようですが、自分の生活の準備を自分でできるようにならないと当番活動はできないという決まりが子どもたちの中にあります。年少児の中には認められて当番活動をしている年少児もいます。挨拶や身支度などの園生活を自分の意志でおこなえるようになったことを友だちに認められて当番活動を任せられます。任せられた子どもたちは大きな自信に満ちた表情で実に楽しんでいます。

I am OK, You are OK 自分を認め他者も認め一緒に強調して楽しむことは、子どもたちの成功体験として心を育てます。「人間っていいなあ」と思える経験は子どもたちを成熟した大人に成長させてくれることでしょう。人と人との営みの中で信頼関係が築かれていく、その関係性こそが幼児教育の基盤であると考えます。平成30年4月1日より改定保育所保育指針が施行されます。10年後の子どもたちを見据えての改定であります。「安定した関係性こそが、保育の教育性の基盤である」と示されています。自分が好きで人が好きで自然が好き、自分の心に素直に喜ぶらせる園生活を保障して行きたいと思えます。

0歳児  
さくら組

# 『じょうずじょうず』

7か月～1歳10か月の子どもたちが過ごしています。  
一人ひとりの育ちを大切に子どもたちの個性をのびします。



あひるさん、  
あつた～!!  
うれしいな～

ブロック  
組み立てられる  
よじなつたよ



ぱくつ!  
つまんで食べるの  
おいしいなあ



さくら組  
村橋裕成ちゃん母

顔つきも体つきも一回り、二回りと大きくなり、日々の園生活を楽しんで過ごせた一年だったと思います。

# のびのびすくすく

## おおきくなあれ

# 『みんななかよし』

みんなで大きくなっています

幼児組

### 3・4・5歳児混合 きいろさん



年長さんにこま回しを教えてもらいました。こまを回すことができるようになりますと、大きい子も小さい子もみんな嬉し合います。



年長さんにこまのひもの巻き方を教えてもらった年中さん。今度は年少さんに教えています。

「お兄ちゃんが  
作ったプラの建物  
かっこいいなあ」  
まねするよ



### 3・4・5歳児混合 きみどりさん



「マントがとれちゃった」と困っていると「こう結ぶのよ」とゆっくりやってみせてくれました。



「どうもありがとう」優しくしてくれるお姉ちゃん大好き。大きい子は「小さい子かわいいな～」と思って笑顔になります。



絵合わせカードあそびをみんなで楽しんでいます。年長さんがルールを教えてくれています。



年少さんから年長さんまでみんなと一緒に花いちもんめをして楽しんでいます。



どんぐりの会会長  
大比良 仁くん父 一年でした。

毎日の園での生活の中から様々な事を学んでいるようです。縦割り班で小さな子どもたちの面倒をみてあげながら、自分の生活もきちんとできるようになりました。また、様々な行事の中から思い出も沢山できた良い一年でした。

1・2歳児  
うめ組  
もも組

# 『おもしろそう～やってみたいた～』

生活やあそびのなかで友だちや大きいお友だちの真似をして、やってみたいたいという気持ちに寄り添いNo.1ぞろいのクラスです。

「せんせい、みてみて」  
紫式部の花を  
見つけて大喜び



幼児組きみどりさんの部屋で  
節分の三方作り  
大きい組さんになった気分で  
指で丁寧のり付け



うめ組 村上愛菜さん・大晟くん母

一年間毎日楽しく通うことが出来ました。いつのまにか自分のできることが増え、成長に驚く日々でした。



もも組 高藤翔太くん母

入園当初、自分のモノにこだわり、リュックも下ろせなかった子が、今では毎日登園を楽しみにしています。成長を感じます。

坂すべりをしようと  
後手を振り向いたら...  
友だちがつかまっていて  
びっくり!

